

環境法令・協定などの遵守徹底

事業活動に伴う周辺環境への影響を抑えるため、事業活動に適用される法令、協定等を適切に周知・運用するとともに、設備や運用の改善に努めています。

環境トラブルへの対応

各事業所が環境マネジメントシステムに基づき、環境トラブルの未然防止や、万が一環境トラブルが発生した時の被害拡大防止に備えています。また、環境トラブル発生時の連絡体制を整え、地元関係機関やJ-POWER本店の危機管理対策チームをはじめとした各部署への速やかな通報・連絡にも備えています。危機管理対策チームでは、経営トップへ速やかに情報共有し、必要に応じて報道各社へ事態の状況を公表します。また、類似地点を含めた再発防止についても部門横断で対策を講じています。2024年度にマスコミを通じて公表した環境トラブル事象は1件です。

近年の公表した環境トラブル事象の発生件数

2022年度:1件 2023年度:0件 **2024年度:1件**

地点	状況・対策
岡山送変電事業所 (岡山県倉敷市)	2024年11月9日、本四連系線1号線の送電ケーブルで地絡事故が発生し、絶縁油約6,000ℓが地下洞道内に流出しました。このうち約2,500ℓは回収されましたが、残り約3,500ℓは一部が海へ流出し、 一部は土壌に浸透 、また一部は地下洞道内に残っていると推定されますが正確な量は不明です。絶縁油は無色透明で、有害物質を含まず、気化や発火の恐れはありません。現在は、海への追加流出を防ぐために排出口の監視を行い、 土壌の汚染範囲を確認するための調査も進めています 。今後も監視と回収を継続し、環境への影響を最小限に抑える方針です。

環境コミュニケーション活動の推進

※統合報告書参照ページ：66ページ

社会へ向けた環境報告や情報開示を行うとともに、各地域においては清掃活動や交流イベントへ参加し顔の見える交流を大切にしています。
また、グループ社内でも環境情報交流会等を開催し、環境管理に関する情報共有に努めています。

表：社内外との環境コミュニケーション（抜粋）

対象	内容
社会へ向けた 情報開示	<ul style="list-style-type: none">・ ニュースリリース *J-POWERホームページにて随時・ 統合報告書の発行 *毎年9月ごろ・ アンケートへの回答（CDP、国内報道機関ほか）
国等への報告	<ul style="list-style-type: none">・ 省エネ法および温対法定期報告 *任意開示への同意・ P R T R 制度に基づく届出・ 廃掃法に基づく届出 ほか
地域社会 との交流	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所周辺の清掃・ 生態系保護活動への参加（稚魚放流等）・ 地域交流イベントへの参加・支援 （自然観察会、学習イベントへの参加、祭事準備等）・ 事業所開放イベントの開催・ 事業所敷地内の植栽・種まきや花壇整備 ほか
グループ社内 の情報共有	<ul style="list-style-type: none">・ 環境情報のタイムリーな共有（法改正情報、トラブル事例など）・ 環境情報交流会の開催・ 事業所内の清掃・美化活動 ほか